

## 第2回 北海道代協 組織委員会 議事録

- 日 時／平成27年7月24日(金)午後2時から午後5時
- 会 場／代協事務所
- 出席者／川口委員長(札幌)・寺田副会長(旭川)・山口日本代協組織委員長・  
若林副委員長・(苫小牧)・永井(室蘭)・海野(旭川)・小林(小樽)・  
岩間(函館)・阿部(釧路)
- 欠席者／押切(帯広)・玉山(千歳)

### 1. 出席者・資料の確認

### 2. 川口委員長挨拶

7月14日、日本代協の組織委員会があり、12500店42.1%が目標になりました。北海道は636店を目標にします。

### 3. 山口日本代協組織委員長挨拶

最近では金融庁のトップが代協行事に参加している。金融庁が「会員増強を頑張ってください」と発言。代協の影響力が強くなっている。

今後組織率50%超えが重要。

手数料開示が見送りになったのは代協の活動によるものが大きい。

消費者団体の要求項目の順位を3番目に下げること成功した。

先日活力研が開催された、自動車保険3年長期、債務者団体などについて話し合われた。10月からの東京海上の築浅割引は代協の影響があった。今後のプロ代理店の目指す方向について

東京海上:比較は時間がかかる。商品比較ではなく、全体をリスクコンサルする方向。

「東京海上と付き合いたい

という。ブランドに

SJNK:プロ代理店として大事なことは何かを考える、(実質的に)

MS:地域密着、防災減災

あいおい:地域をコンサルしたバリューチェーンを目指す。

### 4. 担当副会長挨拶

地元の支部会に情報提供をして行くことで「代協会員は情報を持っている」という状態にする。これが会員増強につながっていくのではないかと考えている。

保険会社の代理店会にも入ってない代理店に対して情報提供するため代協会員になっていただく。前回631店を日本代協からの依頼で636店に目標を修正して活動して行く。

### 5. 議事録作成者指名 若林 (苫小牧)

#### 報告事項

#### 1. 日本代協組織委員会報告

山口委員長の挨拶、高梨副会長の挨拶共に12500店を目指すとして出ている。北海道も組織率40%を目指す。保険会社からの協力も重要。業法改正により企業代理店が増えるのではとみている。コカ・コーラなど実際に加入した。

#### 2. 入会報告・退会報告

川口委員長

北海道の入会70、退会23を目標にする。日本代協の把握している専業代理店数は1520店ある。今年度の現状は4月から10店減

### 3. 国民年金基金報告

北海道代協は4名を目標

#### 審議事項

##### 1. 会員増強の9月末に向けての取組

札幌(川口委員長)

9月末までの北海道の目標は600店21会員増でやっていきたい。  
プラス11店を目標にする。

室蘭

9月までにもう1店増目指したい

旭川

すでにほぼ確定が4店ほどあるので、来月幹事会に会員増強の時間を作りたいと思っている

小樽

目標の1プラスを頑張りたい

苫小牧

富士の代理店会で代協説明会を開催した。支社長に後押しを依頼している。  
今後もアプローチしていきたい。10月までにプラス2店を目標に

函館

あいおいの代理店会で代理店賠償をパワーポイントで説明。各保険会社の業務連絡会で今後も実施したい。10月13日に代理店賠償セミナー開催予定なので、各保険会社協力要請する。9月末までに1店プラスを目標にする。

釧路

今まで+2-2でトータル0になっている。6月の幹事会からリストを作り、対象の保険会社幹事が動く方法で2店増になった。15日網走の代理店が加入したいとの話がある、9月末までに+3を目標にする。

帯広

欠席 +2

千歳

欠席 +1

川口委員長

全体で605店の計算になる。これを9月末までの目標にする。  
全力でお願いします。

##### 2. 国民年金基金の取組

川口委員長:国民年金のQ&Aをよく読んでください。

幹事会で毎月話はしてほしい。

山口委員長：声を掛けれるところにまず声を掛けて欲しい。

3. 新入会員オリエンテーションの取組

寺田副会長：オリエンテーションを北海道代協で実施する時期では？  
支部毎に1人～2人を相手にするよりいいのでは？

山口委員長：福岡代協は代理店賠償セミナーの前にオリエンテーションを行う。  
所属は北海道代協の会員なのでいいのでは？

次回組織委員会 11月6日(金)午後2時～午後5時